

昭和女子大学

キャリアデザイン・ポリシーとキャリア科目の体系

学生の皆さんへ

昭和女子大学は、学生の皆さんが、在学中に“キャリア”をデザインする力を養い、卒業後は自分に適した職業に就いて、社会人・職業人として自立した人生を歩めるように、キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）を策定し、キャリア教育を推進しています。

“キャリア”は、卒業後の就職に止まるものではありません。“キャリアデザイン”は、あなたの長い人生をどのように生きていくか、その中心に職業・就業において人生を計画することです。

昭和女子大学

■キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係る職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

■キャリア科目の体系

本学における「キャリア科目」は、「キャリアコア科目」を含む一般教養科目および各学科の専門教育科目の総体から成り立っています。皆さんは、これらの科目を「キャリアデザイン・ポリシー」に沿って体系的に履修することにより、専門を活かした職業に必要な知識、技能、能力や態度を修得します。

1. 全学共通キャリアコア科目（一般教養科目）

女性として、長い生涯にわたるキャリアをデザインするうえで必要な基礎的知識と方法について学びます。

- ◇「キャリアデザイン入門」（必修）1年前期
 - ◇「女性の生き方と社会」
 - ◇「女性とキャリア形成」
 - ◇「企業と社会のルール」
- （1科目選択必修）2年～3年前期
- （選択）3年・4年後期

2. 一般教養科目：キャリアデザイン・ポリシーと履修の体系

人間や歴史、社会、文化、さらにはそれらを取り巻く環境、自然についての知を拡げ、それによりものの見方、考え方の基盤を築き、自らの視点に立って判断し、行動できる力を身につけます。

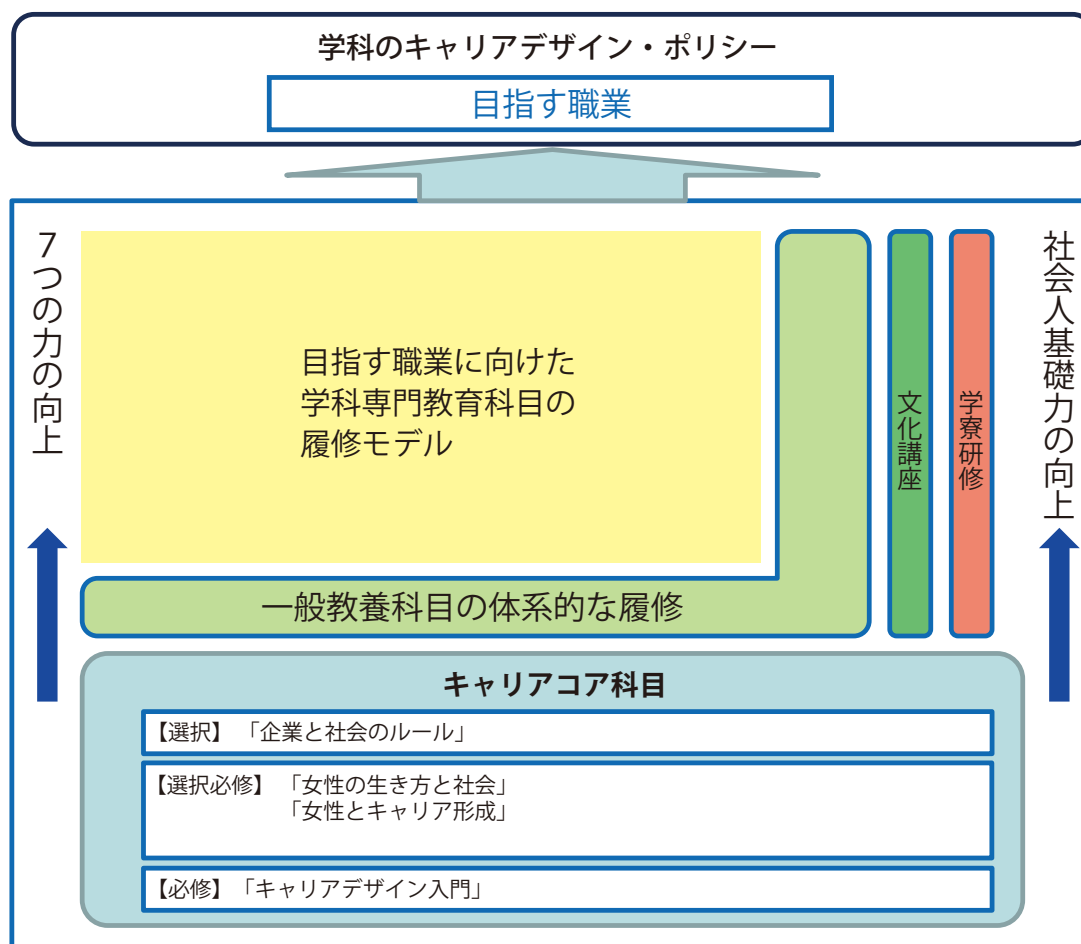
一般教養科目のキャリアデザイン・ポリシーと一般教養の体系については、3～4頁を参照して下さい。

3. 専門教育科目：学科のキャリアデザイン・ポリシーと履修モデル

各学科は、独自のキャリアデザイン・ポリシーを掲げ、専門教育科目の特性を活かした職種・職業（目指す職業）と、それらに就くために適した「履修モデル」を具体的に提示しています。

各学科の「目指す職業と履修モデル」を履修計画の目安として活用して下さい。

目指す職業とキャリア科目の体系



夢を実現する7つの力

大学時代に身につけておきたい力、仕事や生活に必要な力を「夢を実現する7つの力」とし、在学中に身につけ高めておくべき力を具体的に示しています。これらを目標に、持っている力をバランスよく高めていきましょう。

- (1) グローバルに生きる力
- (2) 外国語を使う力
- (3) ITを使いこなす力
- (4) コミュニケーションをとる力
- (5) 問題を発見し目標を設定する力
- (6) 一歩踏み出して行動する力
- (7) 自分を大切にする力

歴史文化学科

キャリアデザイン・ポリシー

1. 多角的な視点から日本や世界の地理・歴史を深く学び、異文化への理解と豊かな感性を備えた教員を育成する。
2. 学芸員・考古調査士等の資格を持ち、歴史・文化の研究にたずさわり、その成果の普及に貢献できる人材を育成する。
3. 地域の歴史と文化を深く理解し、自ら学んだことを活かしながら、社会に貢献する公務員を育成する。
4. 日本と世界の文化を理解し、歴史全般にかかわる専門的な知識を活かした出版・情報関連の仕事にたずさわる人材を育成する。
5. 国内外での歴史・文化にかかわる実習や体験学習を活かし、旅行業界等で働く人材を育成する。
6. 社会への興味関心を持ち、歴史・文化を解明していくなかで得た知見や情報分析能力を様々な分野で活かす人材の育成を目指す。

目指す職業と履修モデル



歴史文化学科

2 学芸員

大学院

※日本美術史を学んだ場合

卒業論文			
4年	歴史文化演習	博物館実習Ⅲ 館務実習(通年)	
3年	ジェンダー論 日本美術史演習 日本美術史特論 日本芸能史 文化財保護行政論	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ (夏季休暇:学芸員研修旅行)	歴史文化と社会●
2年	文化史概論 考古・文化財論 日本服飾史 実践的文章論(入門編)● ボストン・ミュージアム入門 美術館論-地域と美術館- 文書情報管理論	博物館展示論 博物館資料保存論 博物館経営論 博物館情報・メディア論 生涯学習概論 日本美術史概論 西洋美術史概論 東洋美術史概説	女性の生き方と社会★
1年	歴史学概論 歴史文化基礎 日本建築史(飛鳥から江戸)・ (幕末・明治以後) 伝統文化の現場 コンピュータ基礎 A・B● スピーチコミュニケーション基礎●	博物館概論 博物館資料論 博物館教育論 日本美術史基礎 民俗学概論 史料解読	キャリアデザイン入門★ 日本美術通史 日本精神史
	専門科目	学芸員資格科目	推奨する一般教養科目

一般教養科目 外国語科目 文化講座

3 公務員(文化財保護行政系など)

※日本考古学を学んだ場合

卒業論文			
4年	歴史文化演習		
3年	ジェンダー論 社会学概論	日本考古学演習 文化財保護行政論	歴史文化と社会● インターンシップ★
2年	文化史概論 考古・文化財論 現代政治と政治学 実践的文章論(編集の基礎)● 実践的文章論(入門編)● 文書情報管理論	日本考古学特論B-最新の遺跡- 環境考古学 アジア考古学 日本古代史 文化財保存修復学	女性の生き方と社会★ 時事経済論
1年	歴史学概論 歴史文化基礎 東シナ海文化交流史 人文地理学概論 民俗学概論 コンピュータ基礎 A・B● スピーチコミュニケーション基礎●	考古学概論 考古学基礎 日本考古学特論A-最新の分析法- 考古学実習 A・B・C	キャリアデザイン入門★ ボランティア論 コミュニティー・サービスラーニング (ボランティア論)
	専門科目	考古学推奨科目	推奨する一般教養科目

推奨する資格:考古調査士
学芸員

一般教養科目 外国語科目 文化講座

歴史文化学科

4 出版・情報関係

※西洋史を学んだ場合

4年	歴史文化演習			卒業論文		
3年	ジェンダー論 西洋史演習 キリスト教文化史 英語による西洋史 ヨーロッパ歴史演習 A・B	博物館情報・メディア論	歴史文化と社会● インターンシップ★			
2年	文化史概論 考古・文化財論 原典講読 西洋服飾史 西洋文化史 西洋史特論 古代オリエント文化史	文章トレーニング各論 (ビジネス文章) スピーチトレーニング各論 (プレゼンテーション)、(朗読) 実践的文章論(編集の基礎)● 文書情報管理論	女性の生き方と社会★			
1年	歴史学概論 歴史文化基礎 ヨーロッパ建築史 近代女性史文献講読 西洋史概論 西洋美術史概論 日本近世史 日本近現代史 アメリカ史概論	実践的文章論(入門編)● コンピュータ基礎A・B●	キャリアデザイン入門★ メディア論A・B・C・D★			
	専門科目	就職支援科目	推奨する一般教養科目			

一般教養科目
外国語科目
文化講座

5 旅行代理店・ホテル等

※地理学を学んだ場合

4年	歴史文化演習			卒業論文		
3年	ジェンダー論 民俗学特論 地域文化演習 伝統文化の現場 茶道文化史 地理学特論-地理学の諸問題-		歴史文化と社会● インターンシップ★			
2年	文化史概論 考古・文化財論 禅と日本文化 地誌通論A・B 宗教学概論 文化人類学概論 ポストン・ミュージアム入門 ヨーロッパ建築史	文章トレーニング各論 (ビジネス文章) スピーチトレーニング各論 (プレゼンテーション)、(朗読)	女性の生き方と社会★			
1年	歴史学概論 歴史文化基礎 民俗学概論 人文地理学概論 地域調査法-フィールド・サーヴェイ入門- 自然地理学概論 地域文化概論	コンピュータ基礎A・B● 実践的文章論(入門編)● スピーチコミュニケーション基礎●	キャリアデザイン入門★			
	専門科目	就職支援科目	推奨する一般教養科目			

一般教養科目
外国語科目
文化講座